

令和7年度 学習計画(シラバス)

教科	科目	対象学年 年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所
国語	現代の国語	1年	2	岩川 栞	『高等学校 現代の国語』 坪内稔典 他26名(数研出版)	国語辞典(旺文社) 重要頻出漢字リアルマスター3300(尚文出版)
指導の重点		1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。 3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通してものや社会に関わろうとする態度を養う。				
評価の観点		知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。			
		思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			
		主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。			
学習の評価		1. 定期考査や課題テストで「知識・理解」「思考・判断・表現」を評価する。 2. 授業中のペアワークやグループワーク、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3. 課題提出で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 4. 上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。				
学期	月	考査	単元	学習内容	学習の目標(評価)	
1	4	中間	現代文入門	評論の読み方	【知技】 評論文の特徴を理解し、他の文章との違いを説明できる。 【思判表】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	
			対比の構造	「攻撃」と「共存」 論理的ということ	【知技】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	
			一般論と主張	ポスト・プライバシー (p.55 グラフの読み取り)	【知技】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思判表】 一般論と主張を読み分け、筆者の考えに迫ることができる。 筆者の主張に対して、自分の考えをまとめることができる。 【主】 ・グラフに示された情報を読み取り、自分の意見を補強することができる。	
			実用の文章①	資料を分析して考えをまとめる	【知技】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思判表】 自分の主張を論理的に説明するために、どのような情報を集める必要があるか考えることができる。 メディア 【主】 メディアに掲載された情報を積極的に集め、自分の意見を補強することができる。	
			実用の文章②	情報とメディア 目的に合わせて表現を工夫する	【知技】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思判表】 自分の主張を論理的に説明するために、どのような情報を集める必要があるか考えることができる。 【主】 自分の暮らす地域の課題について考え、資料からポイントを挙げ、具体的に考察しようとしている。	
	6	期末	論理とレトリック	コインは円形か	【知技】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思判表】 一般論と主張を読み分け、筆者の考えに迫ることができる。 筆者の主張に対して、自分の考えをまとめることができる。	
			文章トレーニング①	要約する	【知技】 文章の要点を的確に捉えることができる。 【思判表】 文章の構造を意識して要約することができる。	
			具体と抽象	ものとことば	【知技】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 【思判表】 一般論と主張を読み分け、筆者の考えに迫ることができる。 筆者の主張に対して、自分の考えをまとめることができる。	
			比較する	絵を前に思いをめぐらす	【知技】 比喩や例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解することができる。 【思判表】 異なる文章を読み比べることで、筆者の意見を理解し、内容を捉えようとしている。	
			文章トレーニング②	比較する	【知技】 比喩や例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解することができる。 【思判表】 異なる文章を読み比べることで、筆者の意見を理解し、内容を捉えようとしている。 【主】 筆者の考えている内容を踏まえて、表現を工夫して文章を書くことができる。	
2	12	期末	視野を広げる	他者を理解すること	【知技】 筆者の主張と根拠などの情報と情報との関係について理解できる。 【思判表】 「そのこと」の指示する内容を明らかにしながら、筆者の考えの筋道を説明できる。	
			文章トレーニング③	論証する	【知技】 文章の要点を的確に捉えることができる。 【思判表】 文章の構造を意識して要約することができる。	
			思考を深める一環連づけて読む	時を編む人間	【知技】 近代の時間関係について理解できる。 【思判表】 「生きた時間／生きて動いている時間」について、筆者の意見を読み取ることができる。 「時間はどのようにあるのか」について、自分の意見をまとめることができる。	
3	学年末	話し言葉の実践	説得力のある話し方	【知技】 適切な声の大きさと話すことができる。 相手を見て話すことができる。 【主】 話の構成を工夫して話すことができる。		
		対比の構造	水の東西	【知技】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。		